



東京バッハ合唱団 第116回定期演奏会

The 116th Regular Concert BACH-CHOR, TOKYO

J. S. Bach

[日本語演奏・大村恵美子訳詞]

— Performance in Japanese Version Translated by OHMURA Emiko —

カンタータ第178番《主 われらに いまさずば》 日本語演奏初演

Wo Gott der Herr nicht bei uns hält BWV 178

カンタータ第176番《抗い また怯むは 心の常》 日本語演奏初演

Es ist ein trotzig und verzagt Ding BWV 176

カンタータ第177番《呼びまつる イェスよ》 日本語演奏初演

Ich ruf zu dir, Herr Jesu Christ BWV 177

カンタータ第1番《あしたに輝く 妙なる星よ》

Wie schön leuchtet der Morgenstern BWV 1

ソプラノ＝光野孝子

MTSUNO Takako, Soprano

アルト＝佐々木まり子

SASAKI Mariko, Alto

テノール＝黄木 透

OKI Toru, Tenor

バス＝小藤洋平

KOTO Yohei, Bass

オーケストラ＝東京カンタータ室内管弦楽団

TOKYO CANTATA CHAMBER ORCHESTRA

オルガン＝草間美也子

KUSAMA Miyako, Organ

合唱＝東京バッハ合唱団

BACH-CHOR, TOKYO

指揮＝大村恵美子

OHMURA Emiko, Conducting



▲「み国の戸めざし」BWV 176/6

2018年 **5月12日** [土] 14:00 開演 (開場 13:30)
Saturday 14:00 p.m. May 12, 2018

武蔵野市民文化会館小ホール Musashino Civic Cultural Hall

- [入場料] (全席自由席) 前売り 3500円、当日 4000円 Tickets : ¥3500 (in advance) ¥4000 (on the day)
- [チケット申込み / 問合せ] 東京バッハ合唱団事務局
電話・メール・ファクス等でお申し込みください。代金振替用紙同封の上、郵送いたします。
Tel : 03-3290-5731 E-mail : office@bachchor-tokyo.jp Fax 専用 : 03-3290-5732 (裏面に申込みフォーム)
ホームページ <http://bachchor-tokyo.jp/> (チケット申込み窓口があります)

333
HBS

「ヘンデル・バッハ・スカルラッティ生誕 333 年記念祭」参加公演 333 Years of Handel, Bach & Scarlatti

[後援] ドイツ連邦共和国大使館 Supported by Embassy of the Federal Republic of Germany

333 Years of Handel, Bach & Scarlatti
www.hbs-333.com

[主催] 東京バッハ合唱団 Presented by BACH-CHOR, TOKYO



ドイツと日本
Zukunft gestalten
ともに未来へ



光野孝子 (ソプラノ) みつのおかこ

島根大学教育学部特別音楽課程卒業。オペラでの活躍に加え、宗教曲においてもバッハを中心に多くの作品でソリストを務めている。2006年ライブツィヒ・バッハフェスティヴァルに、樋口隆一指揮・明治学院バッハアカデミー合唱団のソリストとして出演、好評を博す。当合唱団の音楽指導のほか、合唱指揮の分野でも活躍中。二期会会員。



黄木 透 (テノール) おうき・とおる

武蔵野市出身。東京芸術大学大学院修士課程音楽研究科音楽専攻修了。日本トスティ歌曲コンクール 2015 第 3 位、秋篠ベルカント賞・聴衆賞を受賞。2017 年藤原歌劇団「セビリヤの理髪師」アルマヴィーヴァ伯爵役等、オペラ分野での活躍のほか、バッハのカンタータや「マニフィカト」、「メサイア」「第九」等の宗教曲ソリストとしても活動。



佐々木まり子 (アルト) ささき・まりこ

東京芸術大学大学院修士課程独唱科修了。デットモルト北西ドイツ音楽大学留学。帰国後、国内各地にてバッハ作品を中心に演奏活動を行っている。1993 年ヴィンシャーマン指揮ドイツ・バッハソリスト「マタイ受難曲」ではソリストとして国内各地同行。現在岩手大学、東北大学各合唱団の発声指導のほか、合唱団指揮者としても活躍中。



小藤 洋平 (バス) こうとう・ようへい

国立音楽大学声楽科卒業、ハンブルク音楽院修了。在独中より「クリスマス・オラトリオ」やカンタータ、また帰国後も両「受難曲」「ロ短調ミサ曲」等、バッハを中心に宗教曲のソリストとして活動を続けている。2011 年度まで国立音楽大学音楽研究所(バッハ部門) 研究員。リフキン指揮パート 1 人編成「マタイ受難曲」でバスを受け持った。

東京バッハ合唱団

教会カンタータを中心にバッハの作品のみを演奏し、研究する団体として 1962 年大村恵美子の呼びかけで組織された。都内での定期演奏会や各地の教会等での 200 回を超える公演を、1975 年までは主に小林道夫氏、その後は大村恵美子の指揮で行っている。国内では日本語上演を原則とする。ライブツィヒ聖トーマス教会(1983 年、日本の合唱団初)などドイツを中心に海外巡演も 5 回を数える。



▲「ロ短調ミサ曲」日本語上演(2017 年 11 月 23 日、杉並公会堂)

東京カンタータ室内管弦楽団

東京バッハ合唱団のカンタータ連続演奏企画に共鳴して、1979 年、大村恵美子の常任指揮者就任と同時に結成、以来 30 年を超える協演をつづけている第一線の演奏家グループ。声楽パートとともに練習を重ね、カンタータ本来のあり方に沿った奏法を特色としている。一流オーケストラ、アンサンブル等の主要メンバーからなり、全員がバッハ演奏のエキスパートである。

大村恵美子 (主宰/指揮/訳詞)

東京芸術大学楽理科・作曲科卒業後、ストラズブル大学と音楽院に留学。在学中よりバッハのカンタータ演奏を志し、1962 年帰国とともに合唱団設立、2012 年に 50 周年を迎えた。バッハ宗教合唱作品のほぼ全曲の上演用訳詞を完成、多くは自らの指揮で上演。著書・訳書多数。現在、日本語版バッハ・カンタータ楽譜全集刊行中(既刊 72 曲)



バッハ演奏、なぜ日本語か？

◆東京バッハ合唱団は、創設いらい半世紀以上にわたり、わが国におけるバッハ演奏のパイオニアとして、教会カンタータを中心に多様なジャンルのバッハ合唱曲を紹介しつづけていますが、国内の公演においては、われわれの母語である「日本語」による上演を原則としてきました。

◆なぜ日本語か？ それは私たちが日本語で考え、思い、感じているからです。言語の壁は、心のもっとも奥深いところでなされる芸術的共感をはばんでいますが、訳詞演奏は、精神そのものである母語によってその壁を超えてみようとする一つの試みにほかなりません。

◆バッハ音楽の精神的背景には、母語をとおして神と直接向き合おうとするルターの思想が色濃く反映されています。またバッハにいたって、西洋音楽は個々のテキストの意味を形象化し、あるいはテキストの背後の理念や情感に音の形を与えることにより、ラテン語やドイツ語といった特定の言語の制約を超越するに至りました。

◆ですからバッハ音楽の中にあっては、どの言語圏の人々も安心して自分たちの母語に身をゆだねることができるのです。東京バッハ合唱団の日本語による演奏が、バッハ音楽の普遍性の証しとなることを確信しています。

日本語でバッハを歌ってみませんか？

団員募集

●いつからでもご参加ください。次回(第 117 回定期)は、2018 年 12 月 15 日(土) 14 時開演、今回と同会場です。「クリスマス・オラトリオ」前半 3 部《喜べや このよき日を》《この地に野宿して》《あまつ君よ 聞きたまえ》とカンタータ第 28 番《煩むべきかな 年終り》を、いずれも日本語で上演。

●練習日と会場：毎週 [土曜] 15:30-17:30 荻窪教会、[月曜] 18:30-20:30 目白聖公会。参加の資格はバッハ音楽が好きなおこと、合唱経験は問いません。ぜひ一緒に「母語によるバッハ」を体験してください。見学随時歓迎。

[お問合せ/資料請求] 東京バッハ合唱団事務局：電話 03-3290-5731 メール office@bachchor-tokyo.jp 詳細ウェブサイト http://bachchor-tokyo.jp/

武蔵野市民文化会館へのご来場ご案内

〒180-0006 東京都武蔵野市中町 3 丁目 9 番 11 号 [電話] 0422-54-8822

■徒歩……JR 三鷹駅北口から、文化会館通り、約 13 分。

■バス……JR 三鷹駅北口・吉祥寺駅北口・武蔵境駅北口から、あるいは西武新宿線武蔵関駅南口・柳沢駅南口・保谷駅南口から。

■クルマ……駐車スペース(地階)88 台(1 時間 200 円)。限りがございますので、できるだけ徒歩もしくは電車、バスをご利用くださいますようお願いいたします。

<アクセス地図> [武蔵野市民文化会館]

http://www.musashino-culture.or.jp/sisetu/bunka/access.html/



【チケット申込み】 03-3290-5732 (Fax 専用) メールご利用は、office@bachchor-tokyo.jp (下記の必要事項をご記載ください。書式自由)

第 116 回定期演奏会 (2018/5/12、武蔵野市民文化会館小ホール) のチケットを申し込みます。

前売り券：3500 円(全席自由席)

枚数:	お名前:	Tel/Fax または Mail: (必ずご記入ください)
お送り先ご住所:(〒)		

▲お支払い方法：チケットに郵便振替用紙を同封いたしますので、折り返し、枚数分の代金をご近所の郵便局にてお振込みいただけます。